

美ら島の文化継ぐ

第30回県中学校総合文化祭最終日

舞台
展示多彩に



第30回県中学校総合文化祭(主催・県中学校文化連盟)の最終日は8日、浦添市のアイム・ユニバースで、このホールを会場に行われた。県内の中学生が郷土芸能やダンスなどの舞台をはじめ、書道や絵画など各部門で日ごろの文化活動の成果を発表した。

午後の舞台発表では沖縄市立美東中学校吹奏楽部の総勢42人が「マリアの七つの悲しみ」などを演奏した。部長で2年生の三宅凜さん(14)は「コンクールで県1位になって、出場がなかった。大勢の前での演奏は緊張したけど、みんな楽しんでくれた」と笑顔を見せた。

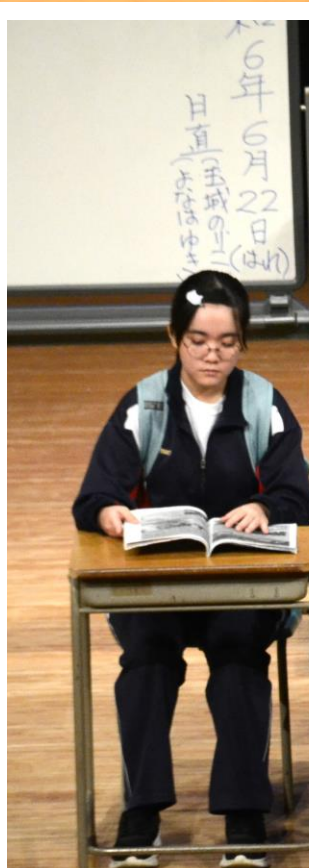
那覇中学校茶道同好会による呈茶コーナーもあり、生徒らが来場者のためにお茶をたてた。メンバーで3年生の宮崎浩太郎さん(15)は「今回の呈茶コーナーで、茶道に関心を持ってくれる人がたくさんいたのうれしい」と手応えを感じた様子だった。

その他、小ホールでは美術の教師による缶バッチ作りのワークショップが開かれ、来場者がオリジナルの作品づくりに取り組んだ。那覇市から訪れた小学1年生の金城音花さん(7)は「ウサギとハートをデザインして「作るのは楽しかった」と話した。舞台ではお姉さんが出演する演劇を鑑賞して「すごかった」と感激した様子だった。

バッチ制作を指導した赤嶺荘士さん(49)は中文祭に出品された美術作品の数々に「パワーを感じた。みんな絵がうまくてうらやましい」と感想を話した。

ステージ上で元気いっぱいのパフォーマンスを見せる神森中学校ダンス部の生徒。8日、てだこホール

第30回県中学校総合文化祭最終日



文化の産声 高らかに



この新聞は糸満市立糸満中の生徒が作りました!!
 (前列左から) 玉城海夢、玉城陽翔、殿内瑠杞、
 知念璃珠、新垣叶泰
 (後列左から) 兼次一翔、平良寿将、窪田大志、
 上原朋己、兼次勇斗